

ご利用中のビジネスチャットに+100円~!

ビジネスチャットを有効活用し、 情シス・総務の業務を自動化

最短30分で利用開始! 月額100円から始める「働き方改革」!

Syncpit ご提案資料

2020年10月

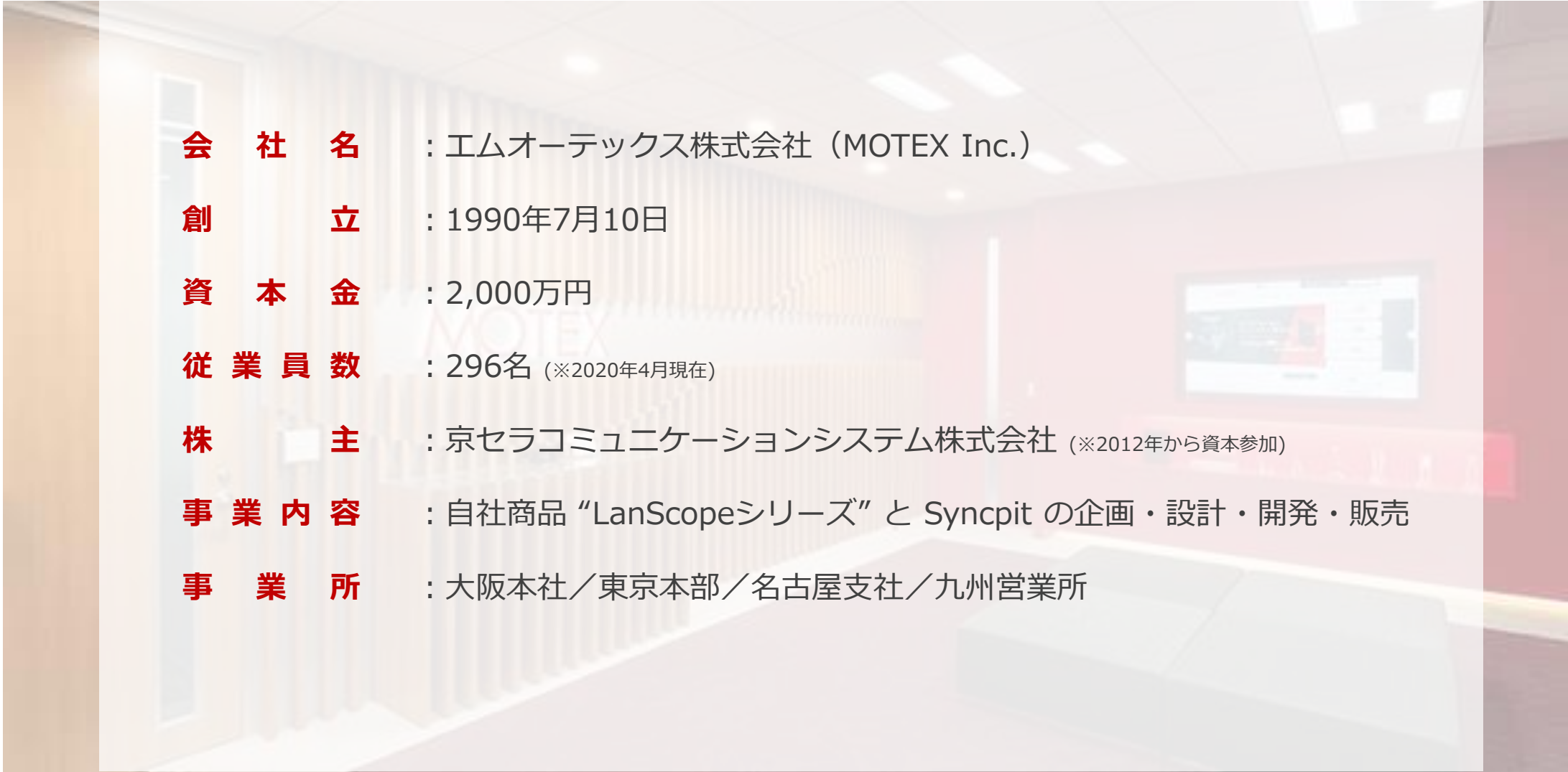
エムオーテックス株式会社



目次

1. Syncpit の概要と特長
2. Syncpit 機能紹介
 - ① 問い合わせ対応の自動化（FAQ ボット）
 - ② 連絡業務の自動化（通知ボット／KING OF TIME 連携）
 - ③ デバイス紛失対応の自動化（LanScope An 連携）
3. 導入事例・サポート体制

会社概要



会社名	: エムオーテックス株式会社 (MOTEX Inc.)
創立	: 1990年7月10日
資本金	: 2,000万円
従業員数	: 296名 (※2020年4月現在)
株主	: 京セラコミュニケーションシステム株式会社 (※2012年から資本参加)
事業内容	: 自社商品 “LanScopeシリーズ” と Syncpit の企画・設計・開発・販売
事業所	: 大阪本社 / 東京本部 / 名古屋支社 / 九州営業所

1. Syncpit の概要

繰り返される問い合わせに追われ、情シス・総務担当者は業務が進まない・・・
でも従業員も困っている・・・

情報システム・総務部が抱える課題

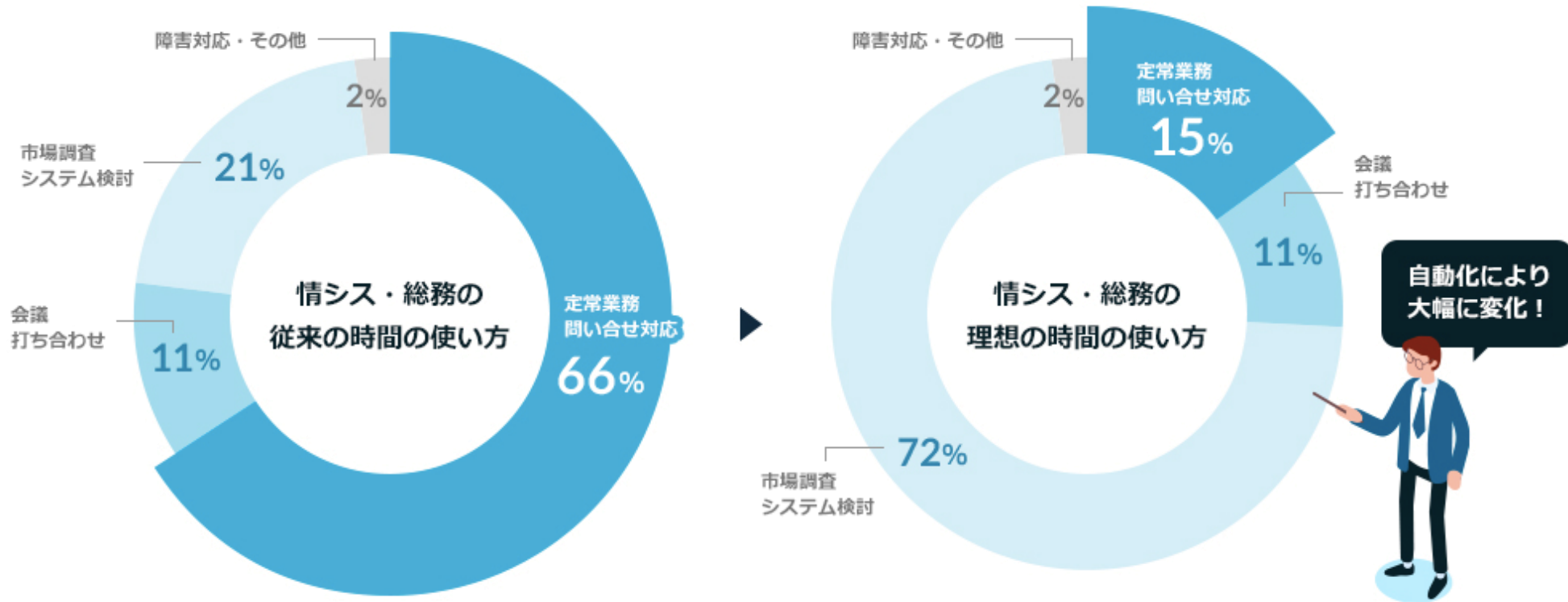
- ・ 問い合わせ件数が減らない
- ・ 同じような質問が重複し、対応に手を取られる
- ・ 問い合わせ対応が手一杯で、コア業務に注力できない
- ・ 業務が属人化し、担当者の異動や退職で後任が
なかなか確保できない
- ・ 精算締め日、勤怠提出漏れなどの連絡で午前中が終わる

従業員が抱える課題

- ・ 社内 FAQ やマニュアルがすぐに見つからない
- ・ 結局電話で聞かないと解決しない
- ・ そもそも、誰に聞けばよいか分からない
- ・ すぐに確認したいのに、ヘルプデスクの対応時間外で
つながらない
- ・ 精算締め日ぎりぎりに慌てて申請・・・

Syncpit が解決する課題

情シス・総務部門のバックオフィス業務の工数を削減し、
生産性の高い業務に集中できる環境を提供

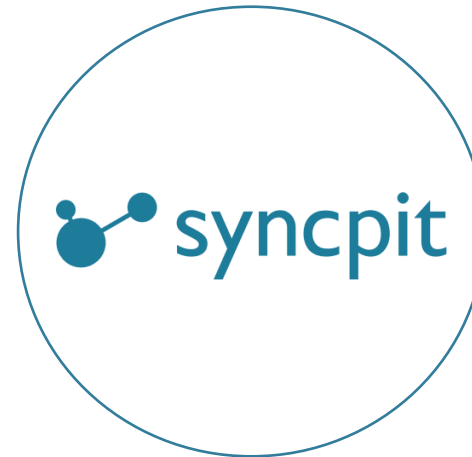
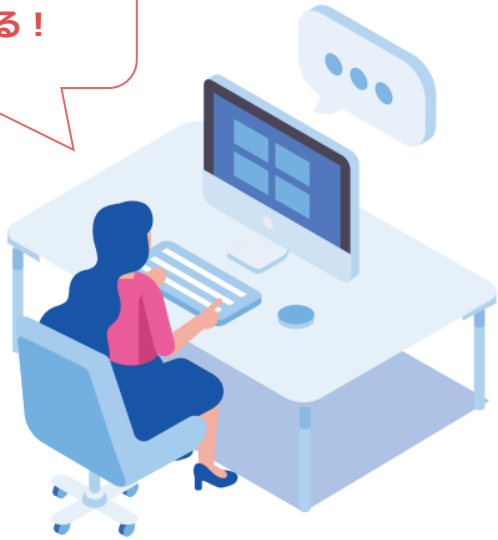


Syncpit が解決する課題

ビジネスチャットを有効活用し、情シス・総務などのバックオフィス業務を自動化

普段使いのビジネスチャットから利用者は課題解決、必要な業務連絡を受けることができます。

聞きたい時・知りたい時に
すぐ教えてくれる！



定型業務を自動化してくれるので、新しい企画や施策
に時間を活用できる！

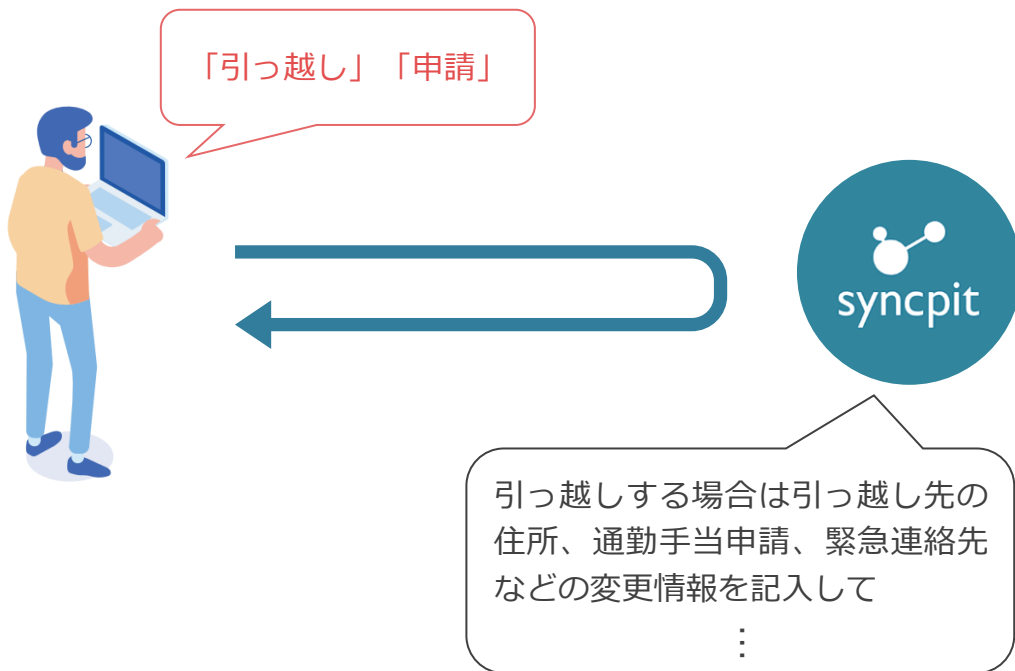


Syncpit が提供する自動化

繰り返される・定型的なバックオフィス業務を Syncpit で自動化

自動化①

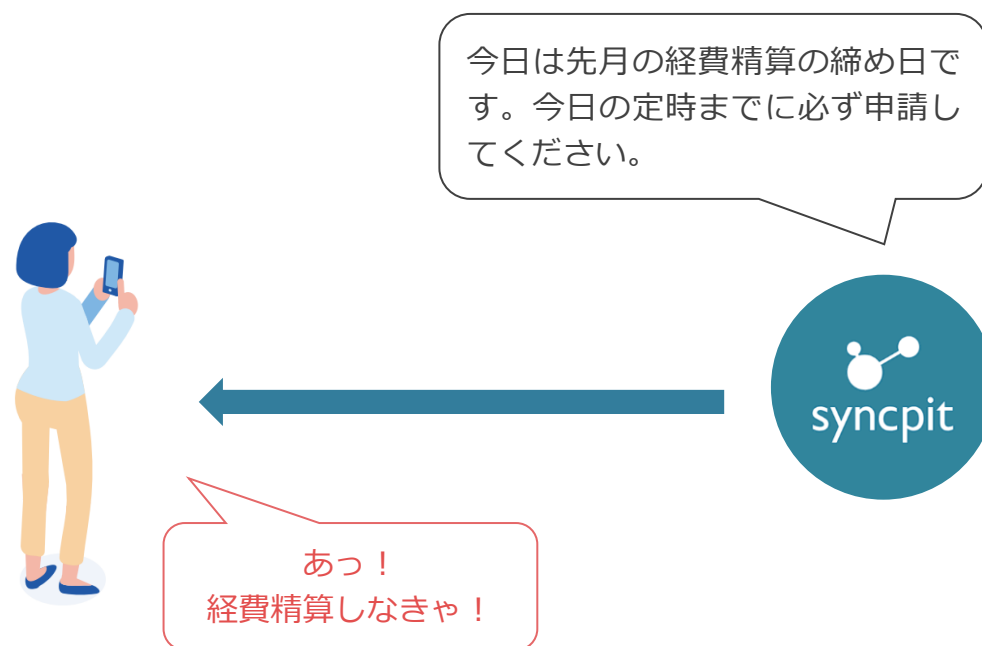
FAQ ボット（問い合わせ対応）



よくある質問やマニュアルを読めば分かるやり取りの削減

自動化②

通知ボット（定期的な連絡業務）



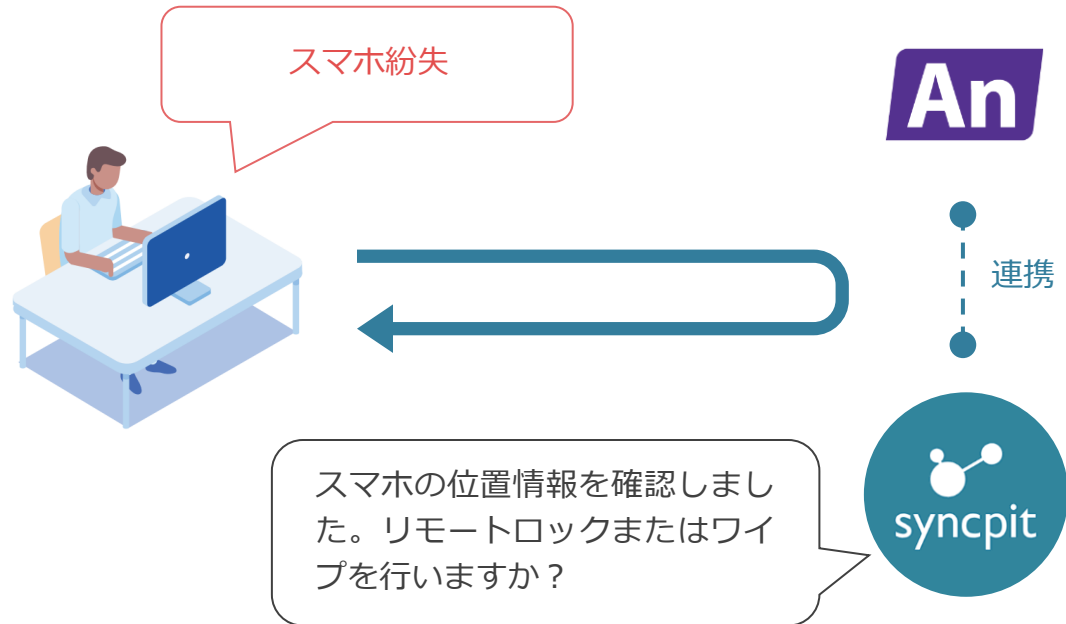
担当者の代わりに必要な連絡を自動通知

Syncpit が提供する自動化（システム連携）

システム連携で、広がる業務効率化や問い合わせ後の対応

自動化③

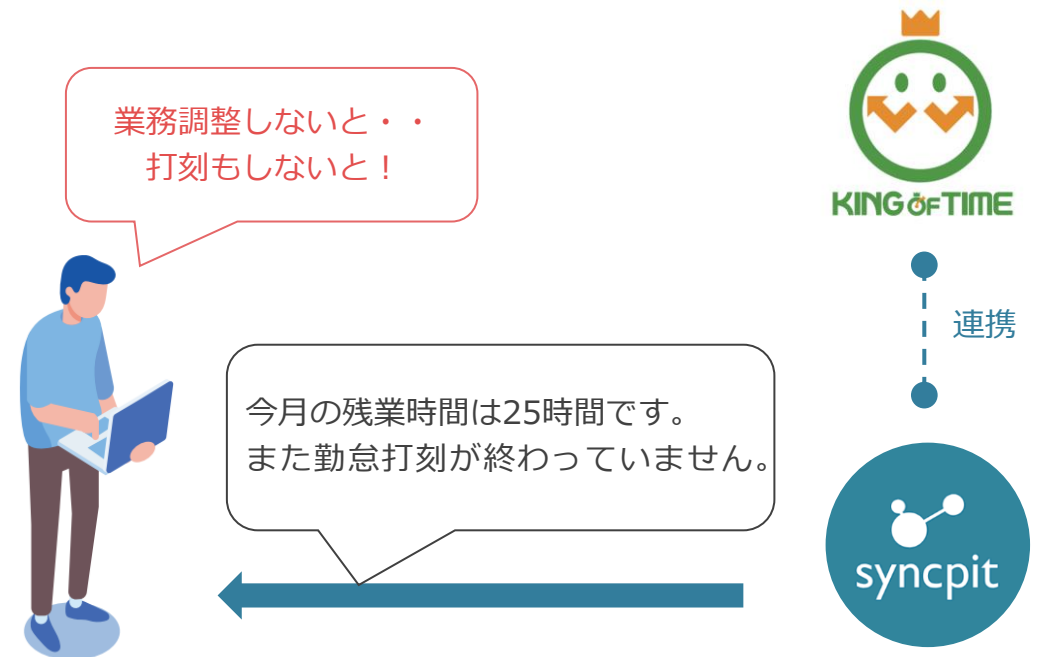
PC・スマホ 紛失対応（LanScope An 連携）



紛失した本人または管理者がいつでも紛失対応

自動化④

勤怠状況の通知（KING OF TIME 連携）

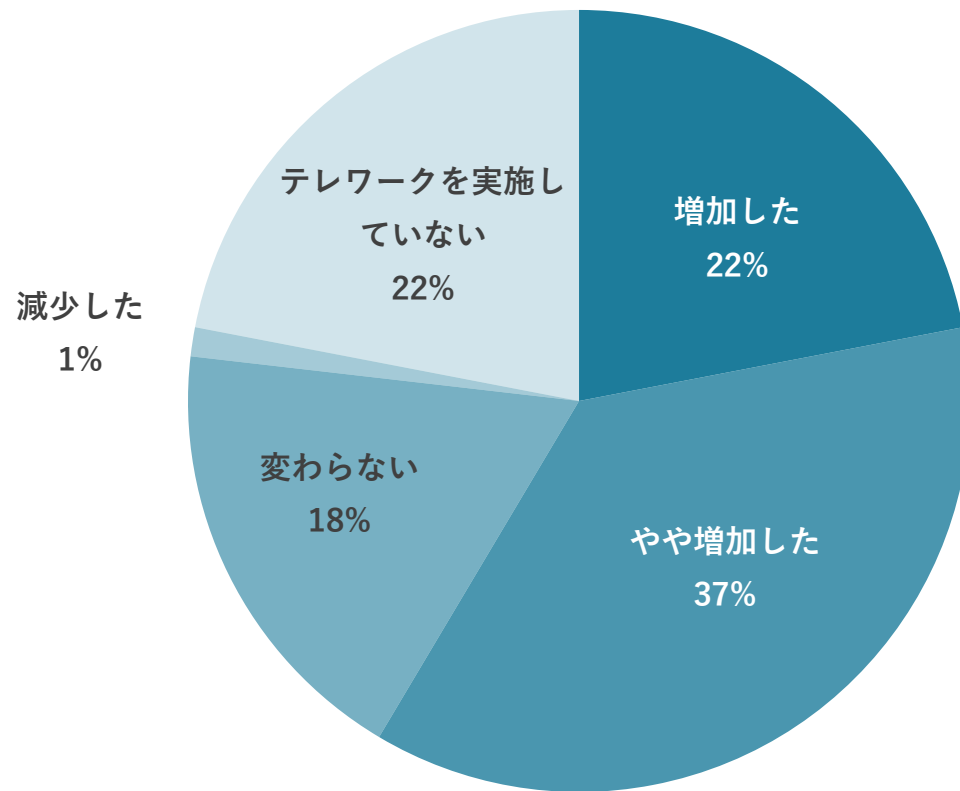


従業員が残業時間や勤怠申請の状況を認識できる

2. Syncpit の特長

テレワーク実施で、情シス・総務への社内問い合わせが増加

テレワーク実施で、情シス・総務への社内問い合わせは増加しましたか？ ※

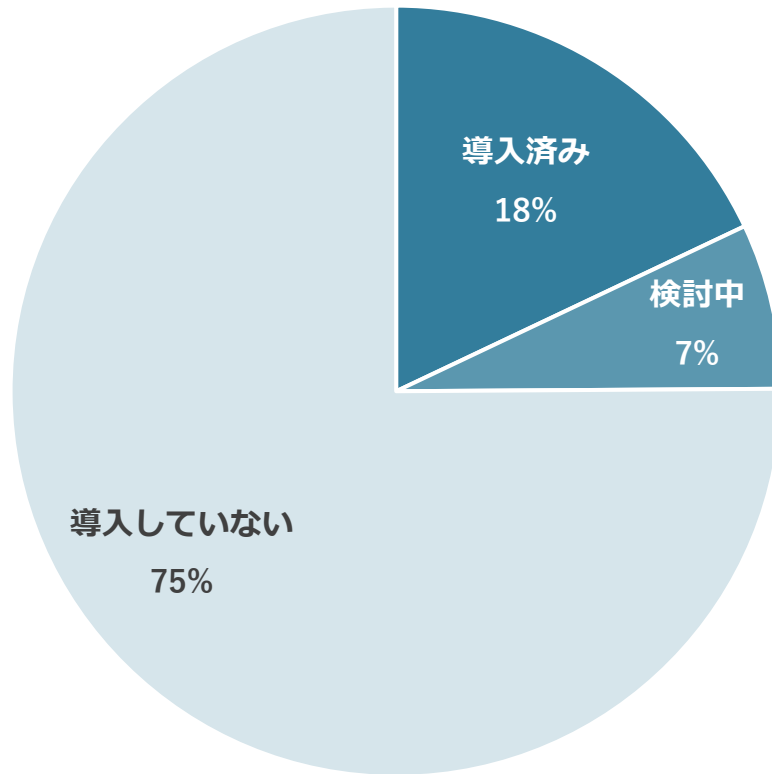


テレワーク実施した中で
増加した・やや増加した

75%

問い合わせ対応の効率化で注目されるチャットボットの導入は限られている

チャットボットの導入または検討を行っていますか？ ※

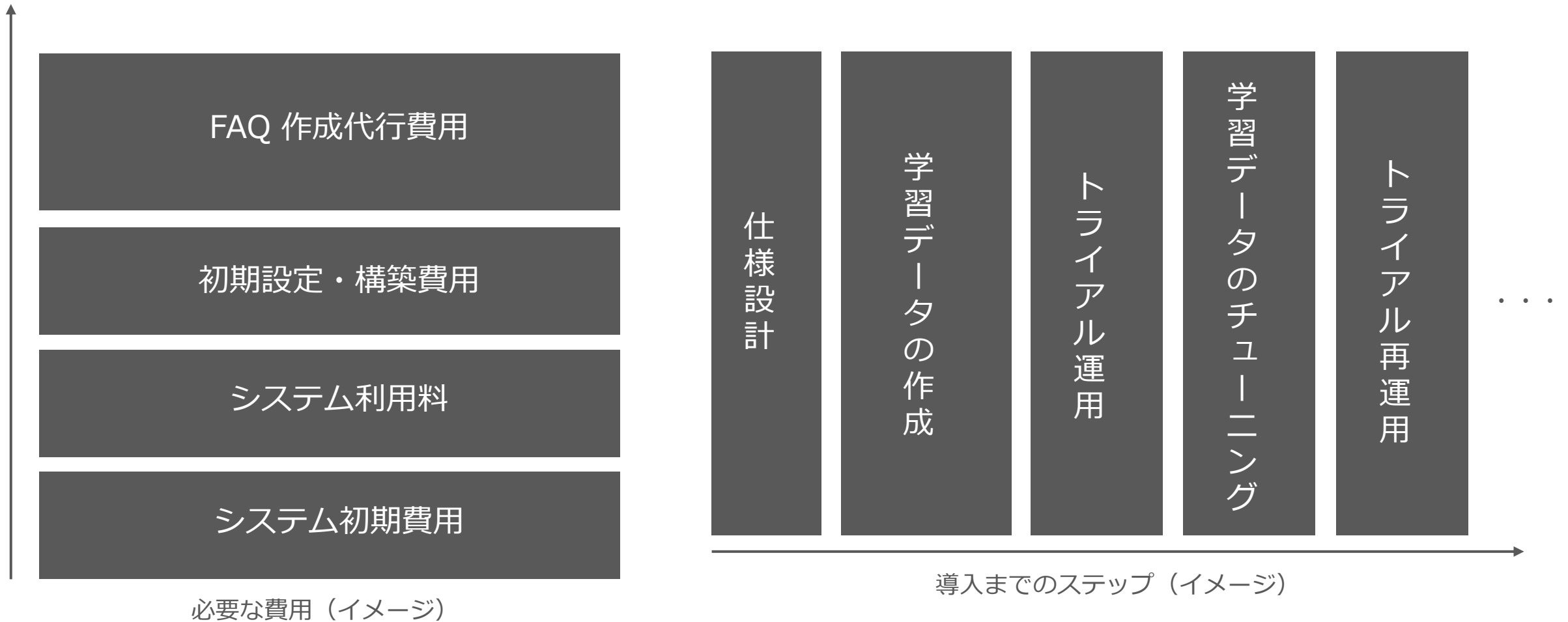


チャットボットを
導入済み・検討中

25%

なぜチャットボットの導入が進まないのか？

初期費用、利用料、設定費用・・・積み上がる導入コスト
特に中堅・中小企業様には手が届きにくいシステム・・・



チャットボットは「人的リソースが少ない中堅・中小企業こそ効果大きい」ツール Syncpit は中堅・中小企業様でも利用できるチャットボットです

お客様の声



大和財託株式会社 管理部 IT戦略 主査 森本 優 氏

チャットボット導入の際に障壁となる、初期設定の煩わしさという課題についても、Syncpitでは感じることはありませんでした。利用開始までのハードルが低い点が魅力です。

チャットボットで、自分で調べる環境が整えば、従業員自身の力にもなりますし、私のようなバックオフィスに従事する担当もお互いにメリットがあります。中小企業様ほど、自動化・セルフサービス化の仕組みを整備することが有効ではないでしょうか。

Syncpit 3つの特長

1. 最短30分！誰でもカンタンに設定可能

初期設定のナビゲーションに従って設定を行うだけで、誰でもカンタンに利用開始できます。

2. システム連携でバックオフィス業務を自動化

Syncpit が対応するソリューションと連携し、情シス・総務のバックオフィス業務を自動化します。

3. ユーザー月額100円から！分かりやすい価格体系

1 ユーザー月額 100 円または 300 円で、すべての機能が利用できます。
導入検討がしやすい分かりやすい価格体系です。



チャットボット稼働開始に必要な操作は**3 STEP!**
最短**30分**でチャットボットの利用を開始できます!



まず動かしてみる！ だけであれば最短30分でボットの利用を開始できます。

利用開始までの手順① チャット連携（15分～20分）

ビジネスチャット上で必要なボットの作成手順も、Syncpit の管理コンソールで手順を紹介！
ボットの作成から Syncpit の連携まで、誰でもカンタンに行うことができます！

STEP1

ボットを作成する

STEP2

Syncpit とボットを連携

STEP3

疎通確認

チャット連携

1 チャットサービス選択 2 ボット作成・連携設定 3 連携確認

Syncpit が識別するためにドメインを入力します

1 ドメインを入力します

これから連携するチャットを Syncpit 上で他の連携済チャットと識別できるようにします。Syncpit 画面右側のフォームにドメインを入力します。

ドメインはメンバーの ID の「@」以降の文字です。
例：「example@syncpit」の場合、ドメインは「syncpit」になります。

ボットを作成します

2 ボットを作成します

LINE WORKS の最高管理者もしくは副管理者アカウントで Developer Console を開きます。

左にあるメニューの「Bot」をクリック後、右に表示されている「登録」をクリックします。



以下のフォームを入力し、「次のステップへ」をクリックします。
項目は全て必須項目です。

- 1** ドメインを入力します
例) 「example@syncpit」 → 「syncpit」
- 2** ボットを作成します
 作成した
- 3** ボットを公開（有効化）します
 公開した
- 4** API ID を入力します
例) iaADXR1SDGzLA
- 5** Server API Consumer Key を入力します
例) lqd0FQdqMKhC1PefQbT
- 6** Server List（固定IPタイプ）を登録します
 登録した
- 7** Server List（固定IPタイプ）の「Token」を Syncpit に入力します
syncpit_server (20.46.190.80) Token
例) AAMLGSd15ntEO6/Ep39IxWnaUNpTivKP8JIKDvc9bD6cacJp1DzuFlv

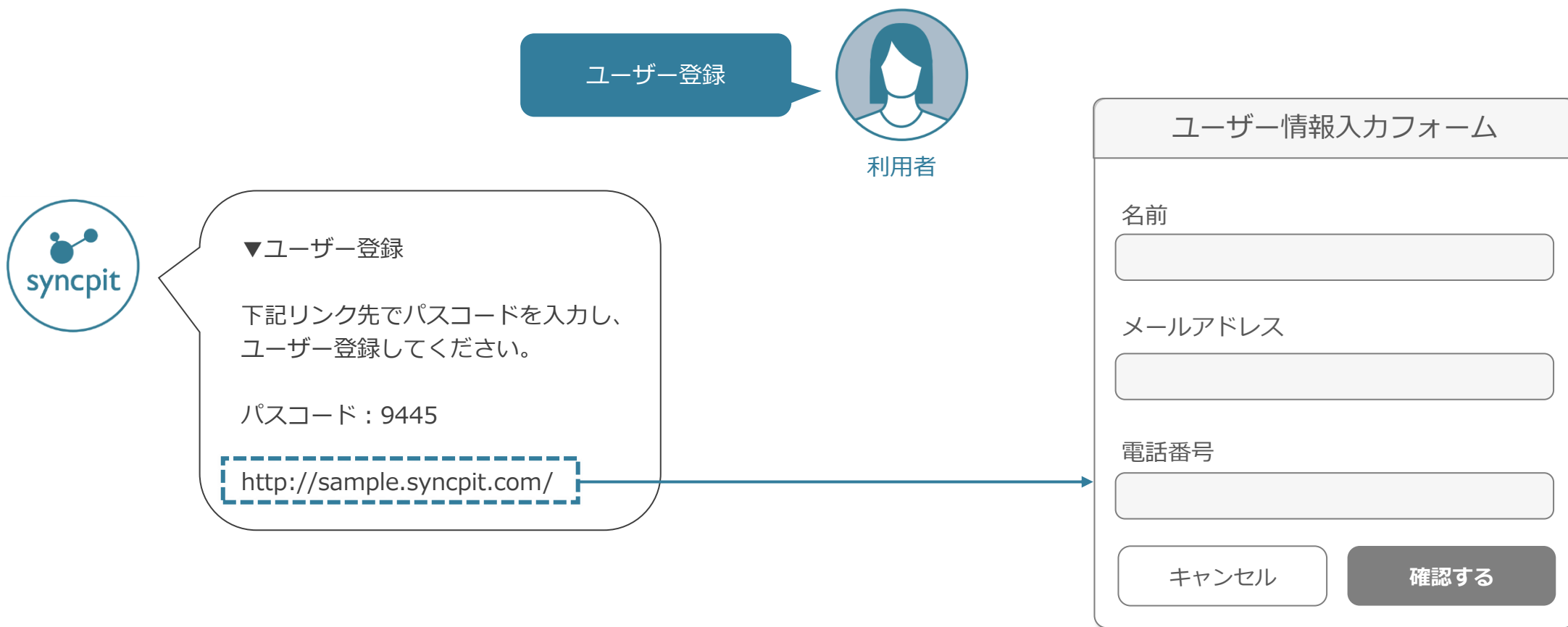
次のステップへ

手順に従って必要な情報をフォームに入力するだけ！

× 閉じる

利用開始までの手順② ユーザー登録（5分）

Syncpit を利用するユーザーがビジネスチャットから「ユーザー登録」と送信、フォームに名前・メールアドレスなど必要情報を入力し、完了※



※管理コンソールから管理者が一括でユーザー登録も可能です。

利用開始までの手順③ FAQ ボットの設定（5分）

ボットを動かすため、あらかじめプリセットされている FAQ を一括公開します。

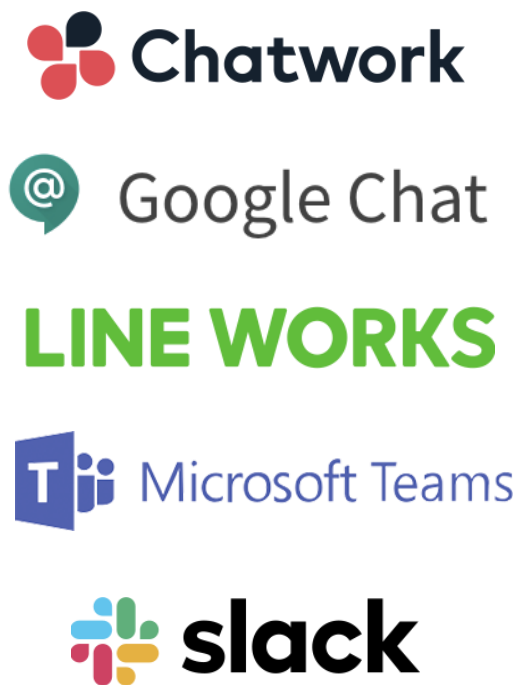
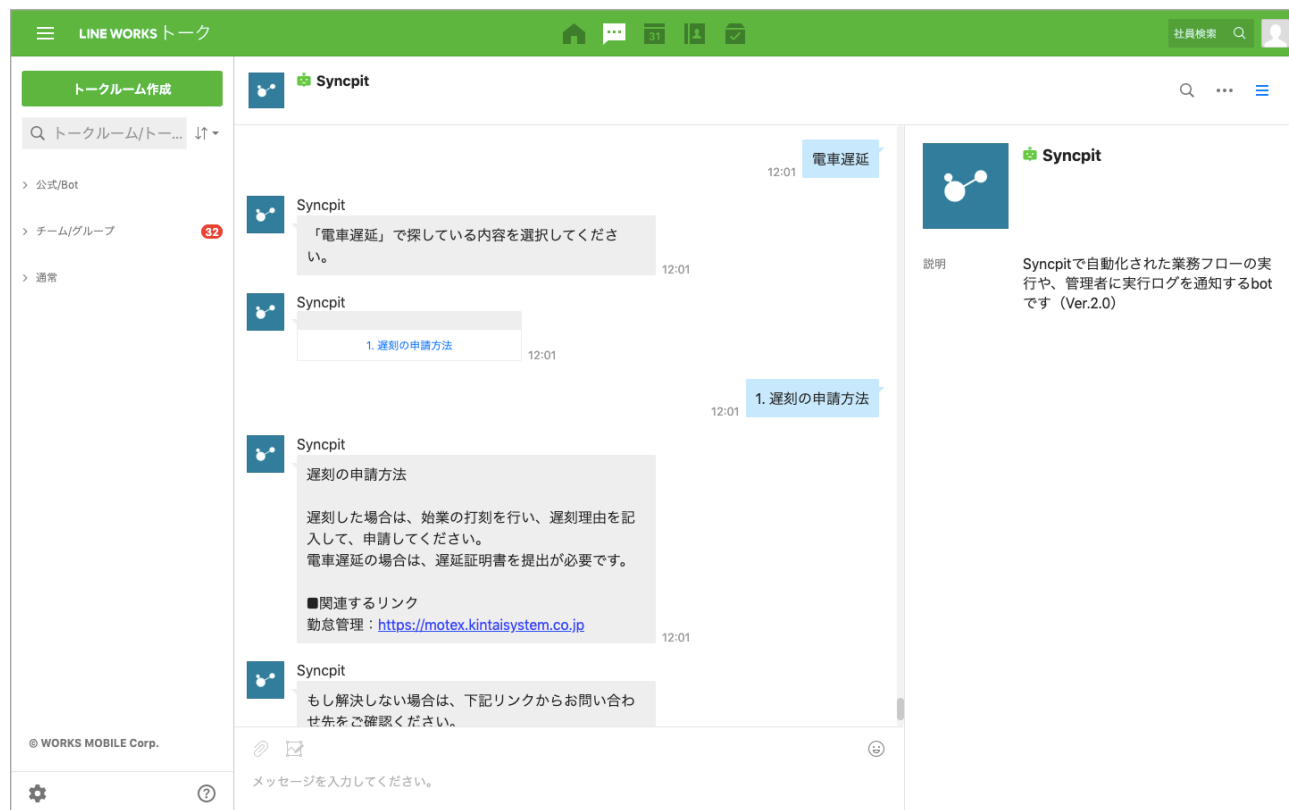
The screenshot shows the 'syncpit' management interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '就業規則' (Employment Rules) and '時間外労働協定' (Overtime Work Agreement). The main content area displays a table of rules under the heading 'ルール > 就業規則'. The table has columns for rule name, description, status (承認/承認済), and publication status (公開/公開済). A red dashed box highlights the '承認' and '公開' columns for three rules. A blue callout box points to these columns with the text 'テストで使うものを選択または一括公開'.

ルール名	説明	承認	公開
就業規則 (全体)	労働時間や賃金をはじめ、人事・勤務規律など、労働者の労働条件や待遇の基準を定めた規則です。	承認済	公開済
就業規則 (採用・異動)	採用の手続きに関する事項、試用期間、労働条件の明示、人事異動、休職に関する規定です。	承認済	公開済
就業規則 (勤務規律)	労働者の遵守事項、職場のパワーハラスメントの禁止、セクシャルハラスメントの禁止、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメントの禁止、個人情報保護、始業・就業時刻の記録、遅刻・早退・欠勤に関する規定です。	承認済	公開済

テストで使うものを選択または一括公開

3STEP の初期設定で、最短30分でボットの稼働が開始します！

プリセット FAQ を公開し、ユーザー登録を実施後、すぐにボットが稼働します。



機能一覧

■機能一覧

ライセンス体系		機能	
ライト	ベーシック	機能名	概要
●	●	FAQ ボット	従業員からよく受ける質問をボットが自動回答。また一般的に使われる FAQ を 150 種類以上プリセットしています。
●	●	活用促進機能	定期的に、利用頻度の高い FAQ を一覧で通知できます。
—	●	通知ボット	従業員に連絡・通知したい内容を、スケジュールに応じて自動で通知できます。
●	●	ダッシュボード	FAQ ボットの利用数・利用状況をランキング形式で確認できます。
●	●	利用ログ	FAQ ボットの利用状況を一覧でエクスポートできます。
●	●	システム連携：LanScope An	LanScope An と連携し、紛失した本人または管理者がデバイスの紛失対応やパスワードリセットを実行できます。
—	●	システム連携：KING OF TIME	KING OF TIME と連携し、勤務実績、勤怠打刻漏れ、残業申請漏れを利用者に通知できます。

■価格表

	定価	備考
Syncpit 初期費用（初回お申し込み時のみ）	30,000円/社	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用として台数問わず、1契約/30,000円が必要です。 ・最低利用ライセンスは5ライセンスです。 ・管理対象のユーザー数分のご購入が必要です。 ・月額でのご提供も可能です。月額の場合、最低利用期間は6ヶ月、販売店様経由のみのお申込みとなります。 ・1契約でライト・ベーシックライセンスの混在はできません。
Syncpit ライトライセンス	100円/ユーザー/月額	
Syncpit ベーシックライセンス	300円/ユーザー/月額	

3. Syncpit 機能紹介

- ① 問い合わせ対応の自動化（FAQ ボット）
- ② 連絡業務の自動化（通知ボット／KING OF TIME 連携）
- ③ PC・スマホ紛失対応の自動化（LanScope An 連携）

3. Syncpit 機能紹介

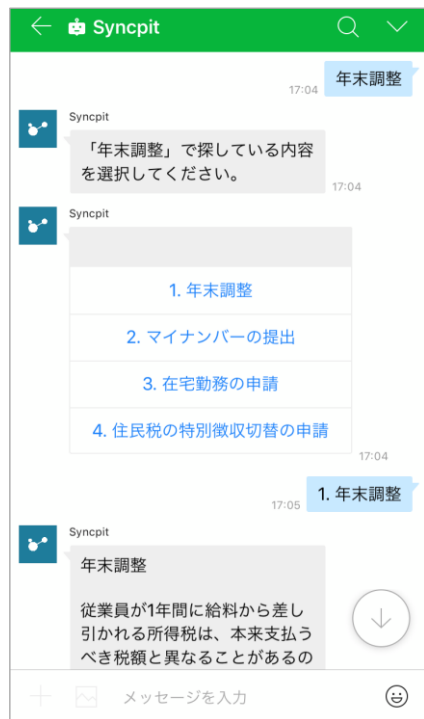
- ① 問い合わせ対応の自動化 (FAQ ボット)
- ② 連絡業務の自動化 (通知ボット/KING OF TIME 連家)
- ③ PC・スマホ紛失対応の自動化 (LanScope An 連携)

FAQ とガイド

複数の FAQ で案内する必要がある場合（例：入社した時／子どもが生まれた時）は「ガイド」で運用します。

FAQ（一問一答）

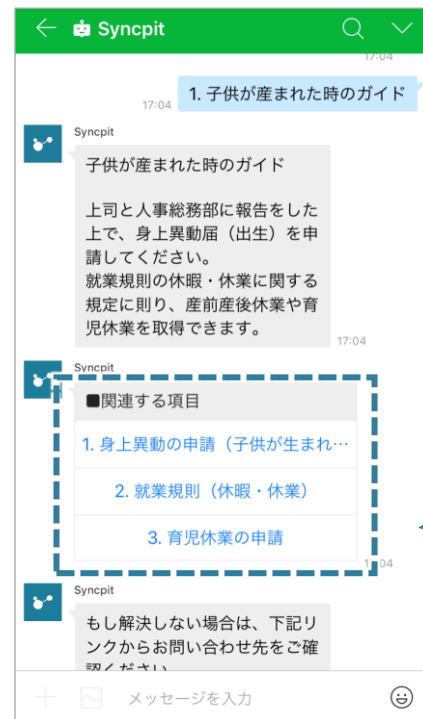
ユーザーの質問に対して、1問1答で回答を作成できます。回答に必要な資料のリンクを表示することもできます。



一問一答形式で回答を表示

ガイド（複数の FAQ を引用）

ユーザーの質問に対して、複数のFAQを引用した回答を作成できます。



「関連する項目」として引用された FAQ の選択肢が表示

プリセット FAQ 一覧

情シス・総務のよくある問い合わせの FAQ を **150 種類以上**プリセット！
 プリセット FAQ の公開設定を行えばすぐに利用開始！

ガイド			
ライフイベントのガイド	入社した時のガイド	結婚する時のガイド	妊娠した時のガイド
	子どもが生まれた時のガイド	育児休業から復帰する時のガイド	親族が亡くなった時のガイド
PC・スマホ関連のガイド	PC を購入する時のガイド	スマホを購入する時のガイド	PC が故障した時のガイド
	スマホが故障した時のガイド	PC 使用者を変更する時のガイド	スマホ使用者を変更する時のガイド
	PC を廃棄する時のガイド	スマホを廃棄する時のガイド	
FAQ 【項目数】			
サポート	システム初期設定 【4】	PC・スマホのサポート 【15】	業務アプリのサポート 【21】
	複合機・設備利用のサポート 【9】	セキュリティ・紛失 【10】	事故・ケガ・病気 【4】
	ハラスメント 【2】	落とし物 【1】	
ワークフロー	IT 資産管理 【5】	システム利用申請 【14】	パスワード再設定申請 【2】
	身上異動申請 【11】	労務申請 【17】	勤怠申請 【10】
	稟議申請 【5】	経費精算 【8】	備品・名刺発注申請 【2】
ルール	就業規則 【14】	時間外労働協定（36協定） 【2】	健康診断 【4】
	座席表・連絡先一覧 【2】	会社カレンダー 【2】	情報セキュリティポリシー 【1】

プリセット FAQ の特長と運用

プリセット FAQ が無い場合

普段どんな問い合わせを受けているっけ？
真っ白な状態から書き出すのは案外難しい！



プリセット FAQ があれば・・・

プリセットされている FAQ をタタキにして
自社のルールに合うよう編集！



▼プリセット FAQ の運用フロー

- STEP 1** プリセット FAQの中から、自社の業務として利用できるものを選択する
- STEP 2** プリセット FAQ で使われている用語を**社内用語に一括置換**する
- STEP 3** プリセット FAQ で使われているリンクを**社内のファイルサーバやストレージのリンクに一括置換**する

プリセット FAQ を管理コンソールから編集し、公開設定を行います。

※お客様独自に FAQ を追加することも可能です。

The screenshot shows the 'syncpit' management console. The left sidebar contains a menu with categories like '1対1ポット設定', 'ルームポット設定', 'コンテンツ管理', 'リンク管理', '問い合わせ管理', '辞書管理', and '用語置換'. Under 'コンテンツ管理', there are several FAQ items listed, including '労務申請' and '年末調整'. The main content area displays three FAQ items with their respective status and settings:

FAQ Title	承認状況	公開可否
住民税の特別徴収切替の申請	未承認承認 (checked)	非公開公開 (radio selected)
年末調整	未承認承認 (checked)	非公開公開 (radio selected)
一般財形貯蓄の申請 (積立開始)	未承認承認 (checked)	非公開公開 (radio unselected)

Callouts highlight that the answer content is a preset and that the public/private status can be set for users.

プリセット FAQ 内で利用されている用語やリンクは、社内用語・リンクに一括置換可能！

syncpit ヘルプ Syncpit

1:1Bot設定 ルームBot設定

コンテンツ管理 問い合わせ管理 リンク管理 用語管理

一覧 編集 削除 新規作成画面へ CSV一括編集画面へ

キーワード 検索範囲 使用状況 使用されているカテゴリ 検索条件 検索する

検索キーワードを入力してください 全て

検索キーワード: なし 使用状況: 全て カテゴリ: なし 全 119 件のうち

一般的なリンクはプリセット！

変更前

リンク名 Outlook ヘルプセンター

リンク <https://support.office.com/ja-jp/outlook>

備考 -

使用中のワークフロー

- ・トラブル > 業務アプリのサポート: [Outlook のサポート](#)

変更後

リンク名 インシデント報告書

リンク <https://xxxxxxxxxxxxxxxxxx>

備考 -

使用中のコンテンツ

- ・サポート > セキュリティ・紛失: [PC紛失](#)
- ・サポート > セキュリティ・紛失: [スマホ紛失](#)
- ・サポート > セキュリティ・紛失: [マルウェア感染・不正アクセスなど](#)
- ・サポート > セキュリティ・紛失: [メール誤送信](#)
- ・サポート > セキュリティ・紛失: [機密文書・記憶媒体紛失](#)
- ・サポート > セキュリティ・紛失: [社員証・入館証紛失](#)

リンクが使われている全てのFAQを一括で置換！

メールを意図しない宛先に送信した場合は、速やかに上司と情報システム部に報告してください。
 情報システム部の指示に従い対処した上で、インシデント報告書を提出してください。

■ 関連するリンク

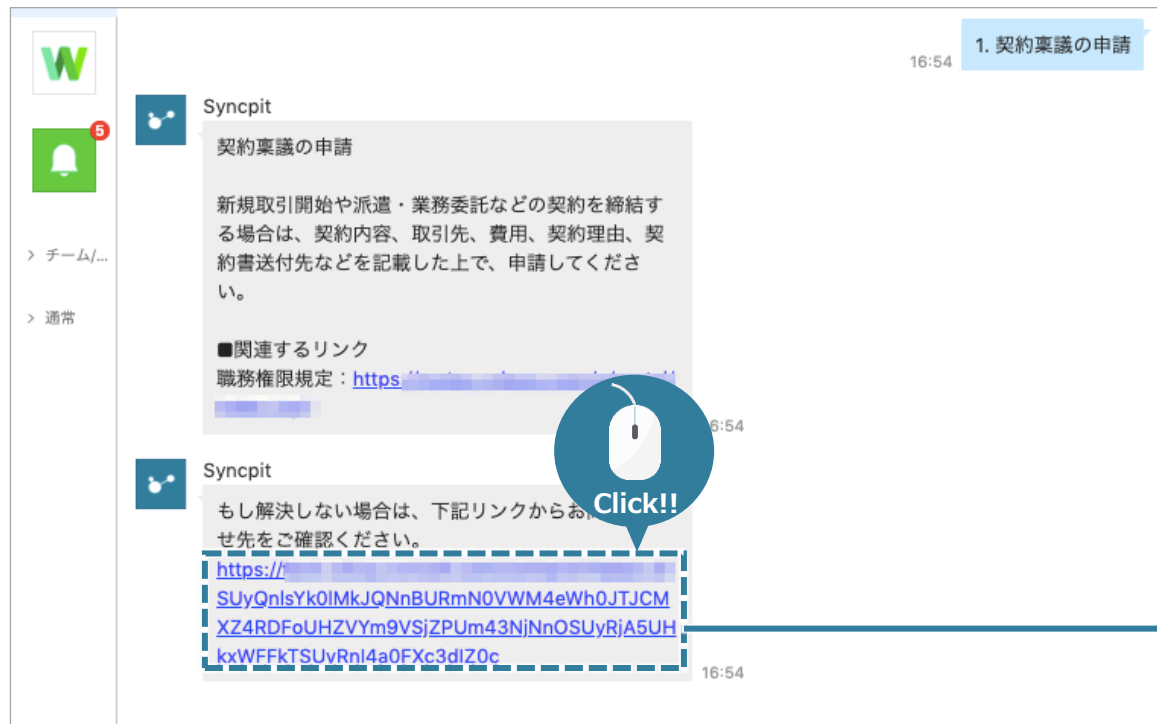
- ・インシデント報告書:

■ 関連するリンク

- ・インシデント報告書: <https://xxxxxxxxxxxxxxxxxx>

チャットボットの効果測定

ボットの返答で解決できない場合に備えて、問い合わせ先を設置。
問い合わせのリンクを Click したか否かで、FAQ の効果測定にも活用！



問い合わせ先の確認と問い合わせ用の雛形をコピー可能！ボットとのやり取りの履歴もそのまま送れるので、問い合わせを受ける担当者の参考にもなります！



コラム 「参考になりましたか？『はい』『いいえ』」使ったことありますか？

FAQ サイトなどに設置されている「参考になりましたか」→「はい/いいえ」「YES/NO」ボタン、積極的に押したことがあるでしょうか？少なくとも FAQ やボットを利用した人全てが押してくれるとは考えにくく、効果測定に利用するのは不十分です。Syncpiti はこの FAQ が「問い合わせにつながったかどうか」、問い合わせ先を確認できるリンクを Click したかどうかで、効果を測定し、ダッシュボードでカンタンに確認できます。

チャットボットの効果測定：ダッシュボード機能

問い合わせにつながった（＝解決できなかったので、情シス・総務担当者が対応した）FAQ を見える化し、改善できるダッシュボード機能！費用対効果も見える化！



問い合わせにつながった（解決できなかった＝人が対応した）質問は内容の見直し！

実際に削減できた時間を把握し、費用対効果を「見える化」！

※ CSV ファイル上で、ユーザーが利用した検索キーワードの抽出、選択したコンテンツ（FAQ/ガイド）を確認できます。

チャットボット導入後の課題

従業員にチャットボットを利用してもらうために試行錯誤・・・
問い合わせ対応を自動化する仕組みを作っても、結局工数がかかっている・・・

① 社内通達で改めて利用促進

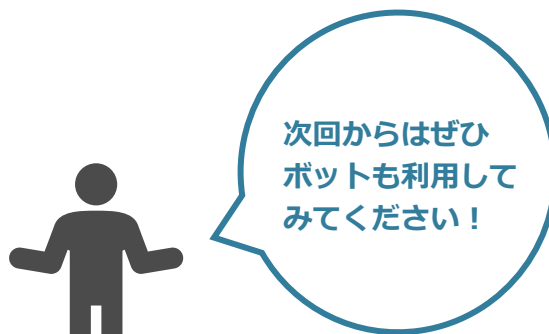
社内通達で全社に共有



担当者様

② 問い合わせの回答時に個別に案内

問い合わせ回答時に
個別にチャットボットの存在を伝達



担当者様

③ 利用促進のポスターを作成！！

ポスターを作成して、
社内の至るところに掲示！



Syncpit の最新バージョンでは、課題解決を自動化する活用促進機能を実装！

よく利用されている FAQ を利用者に自動通知！ チャットボットの活用促進を利用者に代わってボットが対応！

syncpit ヘルプ システム管理者

1対1ボット設定

通知管理
全て開く 全て閉じる 小 中 大

月間カレンダー

活用促進通知

テキスト通知

勤怠連携通知

活用促進通知

FAQランキング

保存する 承認 有効

通知日 毎週水曜日

通知時刻 昼前 (9:00~11:59)

通知期間 指定なし 指定あり 2020年10月21日 ~ 2021年10月21日

最終更新日	最終更新日
2020年10月21日	2020年10月21日
更新者 システム管理者	更新者 システム管理者

直近1ヶ月でよく利用されたFAQランキングは次の通りです。
ぜひ、ランキングを参考にBotを活用ください。

■ランキングTOP20

① 問い合わせ窓口が表示されずに対応が完了したFAQの上位20件を表示します。

通知先 (1名) 武藤 諒

14:55 4G

Syncpit Ver.3.0

2020年10月26日 月曜日

Syncpit Ver.3.0

【FAQランキング】
直近1ヶ月でよく利用されたFAQランキングは次の通りです。
ぜひ、ランキングを参考にBotを活用ください。

■ランキングTOP20

- 1: 購買稟議の申請
- 2: 入社した時のガイド
- 3: PCを購入する時のガイド

2020年10月27日 火曜日

14:54 PCを購入する時のガイド

Syncpit Ver.3.0

「PCを購入する時のガイド」で探している内容を選択してください。

Syncpit Ver.3.0

1. PCを購入する時のガイド
2. スマホを購入する時のガイド

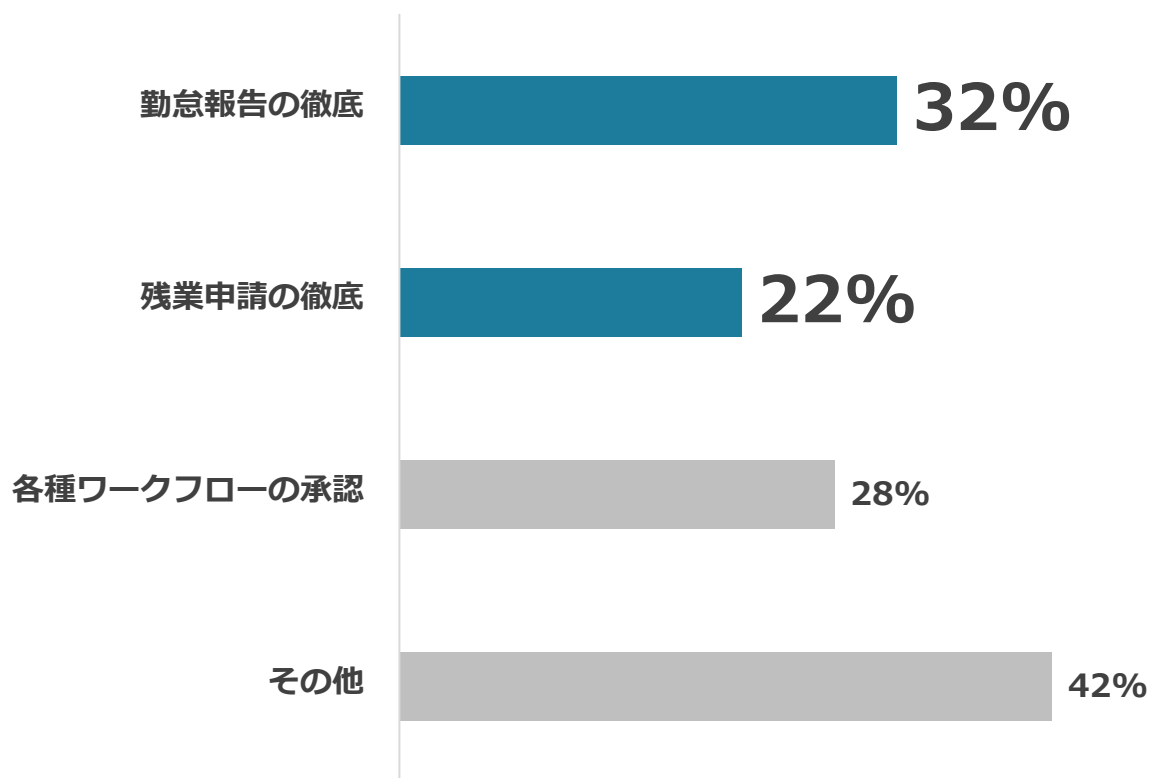
これ調べてみよう!

3. Syncpit 機能紹介

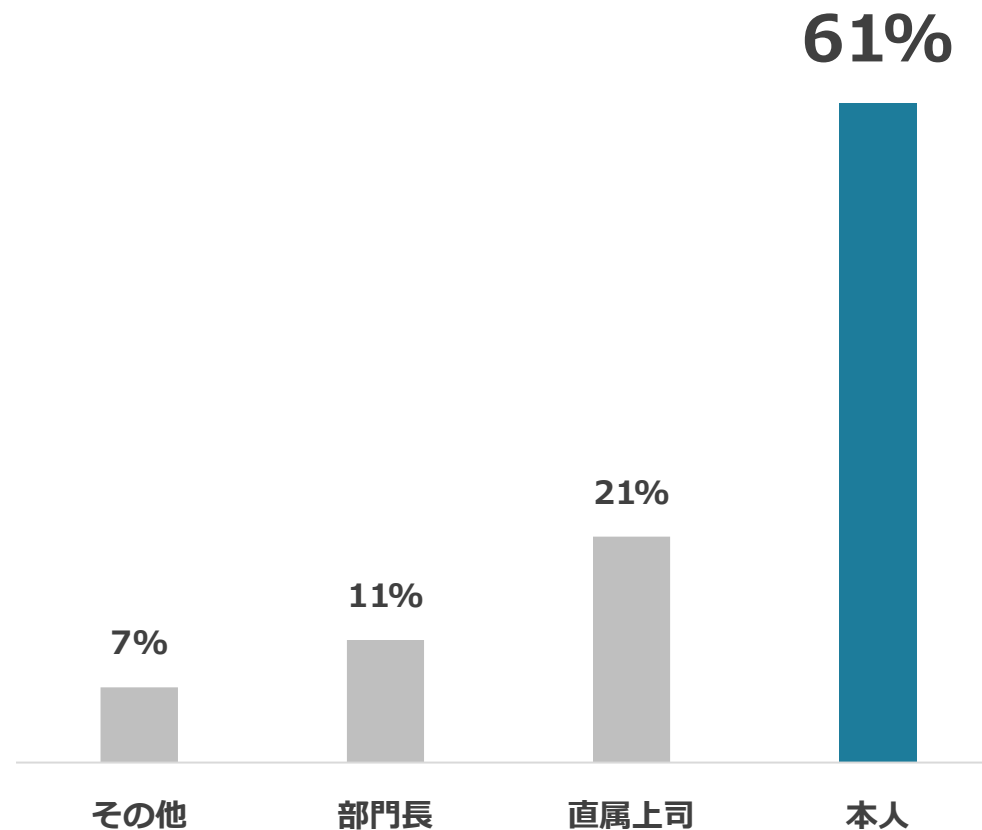
- ① 問い合わせ対応の自動化（FAQ ボット）
- ② 連絡業務の自動化（通知ボット／KING OF TIME 連携）
- ③ PC・スマホ紛失対応の自動化（LanScope An 連携）

勤怠提出や経費精算の締日など定期的な連絡業務は多くの企業で実施
また通知先も「本人」に直接連絡することが効果的と管理者は考えている

従業員に定期的に通知している業務



誰に通知すれば効果的だと思うか



2020年4月より、残業時間の罰則付き上限規制に 中小企業も適用されるなど本格的に施行開始



時間外労働時間（残業の上限）

月45時間以内・年間360時間

違反企業には6ヶ月以下の懲役、または30万円以下の罰金

年次有給休暇の取得

年間5日間の取得を義務化

労働時間の客観的把握

従業員の労働時間を把握・記録することが義務化

出退勤の記録方法や時間外労働の申請方法の見直し等

定期的に通知している連絡業務をボットから本人に連絡

通知日時・期間・対象を指定して、連絡業務をボットが通知

syncpit ヘルプ システム管理者

1対1ボット設定

通知管理

全て開く 全て閉じる 小 中 大

月間カレンダー

活用促進通知

テキスト通知

- 勤怠実績
- 勤怠実績の申請期限
- 残業申請
- 年次有給休暇
- ワークフローの進捗確認
- 経費精算締め日
- 支払依頼締め日

勤怠連携通知

- 勤務実績
- 打刻漏れ
- 残業申請漏れ
- 打刻エラー勤務

通知有効管理

全て未承認 全て承認 全て無効 全て有効 保存する

経費精算締め日	<input checked="" type="checkbox"/> 承認	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
通知日	最終更新日 2020年10月28日	最終更新日 2020年10月28日
通知時刻	更新者 システム管理者	更新者 システム管理者
通知期間		

交通費、出張、接待交際費、経費の精算締め日は、毎週の週末最終営業日です。締め日までに承認された経費は、翌週の3営業日後に入金されます。

下記から経費精算をお願いします。
経費精算：<https://example.com/>

関連する項目 (FAQ)

- 国内出張の精算
- 接待交際費の精算
- 経費の精算

通知先 (1名)

支払依頼締め日	<input type="checkbox"/> 承認	<input type="checkbox"/> 有効
通知日	最終更新日	最終更新日
通知時刻	更新者	更新者
通知期間		

支払依頼の締め日は、毎月の月末最終営業日です。

下記から支払依頼をお願いします。
経費精算：<https://example.com/>



【経費精算締め日のお知らせ】

交通費、出張、接待交際費、経費の精算締め日は、毎月15日です。締め日までに承認された経費は、当月25日に入金されます。

■通知に関連する項目

1.勤怠実績の申請

2.経費の精算



関連する FAQ も合わせて確認可能

経費精算の締め日は、毎月15日です。経費を精算する場合は、承認された経費申請と紐付けて、支払日、支払金額、支払先、購入品・支払対象、支払方法などを記入した上で、精算してください。

経費精算は以下「経費精算システム」より行ってください。課長・部長双方の承認が必要です。

■関連するリンク

経費精算システム：<https://sample.com>

KING OF TIME と連携し、従業員の状況に応じて、残業の上限規制遵守や有給休暇取得を推進

KING OF TIME 上のデータをもとに通知：勤怠実績 / 打刻漏れ / 残業申請漏れ / 打刻エラー勤務



【勤怠実績】

今月の勤務実績を確認してください。

■ 残業時間

今月の実績：14.5時間

■ 残業時間+休日勤務時間

実績：14.5時間

■ 有給休暇取得状況

取得日数：0日0時間

残り日数：0日0時間

下記から各種申請してください。

KING OF TIME：https://example.com/

■ 通知に関連する項目

時間外労働の上限規則

まだ月初だけど
残業14時間超えている・・・
業務調整しないと・・・



毎日、各ユーザーの勤怠状況に合わせて
ビジネスチャットに通知

■ 残業時間

実績：（今月の累計残業時間）

■ 有給休暇取得状況

取得日数：（今年の有休取得日数）

残り有休日数：（今年の残り有休日数）

「残業の申請」や「時間外労働の上限規則」など
関連する FAQ を一緒に通知！

3. Syncpit 機能紹介

- ① 問い合わせ対応の自動化（FAQ ボット）
- ② 連絡業務の自動化（通知ボット／KING OF TIME 連携）
- ③ PC・スマホ紛失対応の自動化（LanScope An 連携）

Syncpit と LanScope An を連携

「いつでも」「どこでも」デバイス利用者自身が
デバイス紛失対応・パスワード忘れ対応が可能！

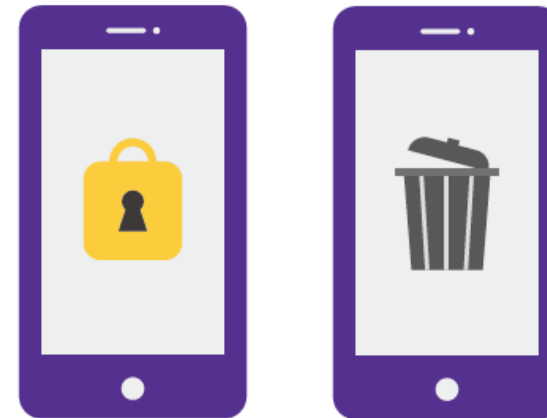


ビジネスチャットでスマホ・PCの
リモート操作・パスワードオフを指示する



LanScope An

LanScope An がスマホ・PCの
リモート操作・パスワードオフを実行する

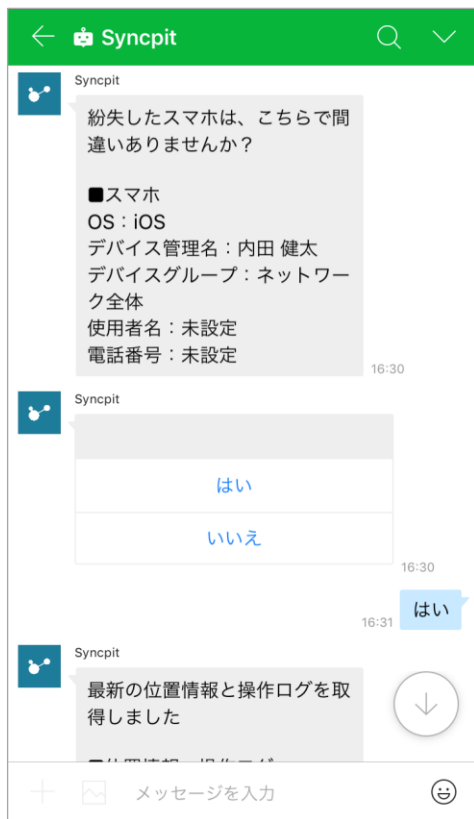


※ 本機能を利用するためには、別途「LanScope An」の導入が必要です。

LanScope An のコンソールを開かなくても緊急対応が可能！ 管理者に代わり、24時間365日 チャット Bot が自動応答！

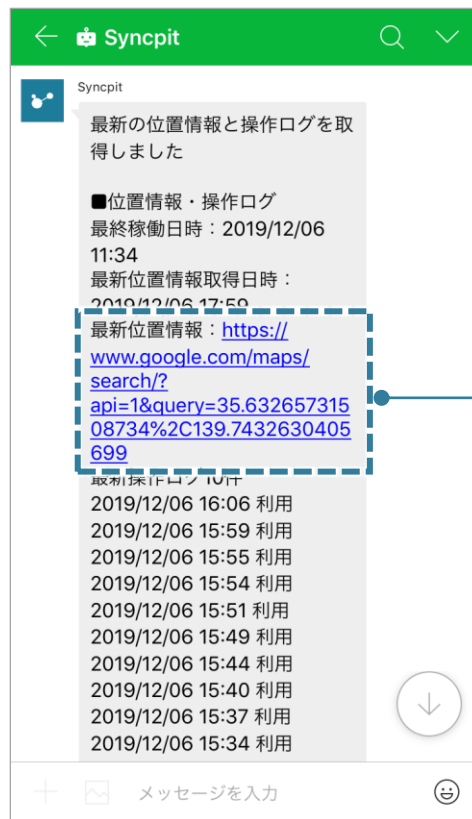
STEP 1

紛失連絡後、デバイスを特定



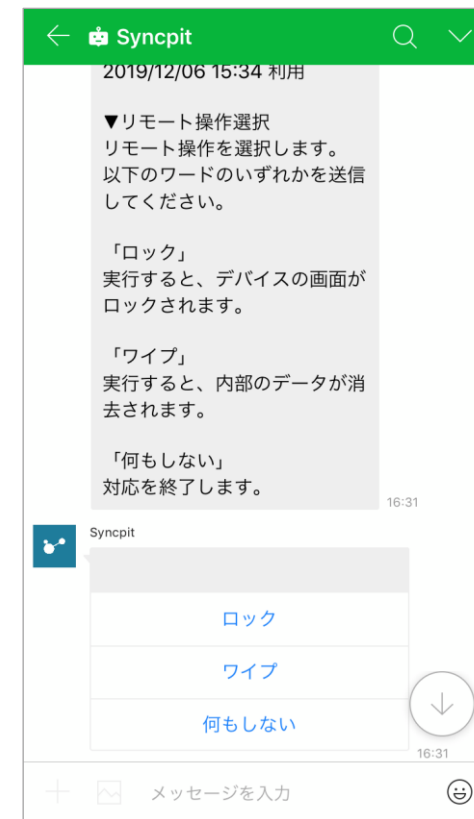
STEP 2

位置情報や操作ログを確認！



STEP 3

紛失対応を実施！



スマホ・タブレットのパスワード忘れ

定期的にパスワード変更を促すポリシーを設定
設定後、忘れてしまった場合はチャットからパスワードリセットを実行！



LanScope An と連携して実現できる機能 ※

	機能	対象OS				概要
		i	A	W	m	
1	スマホ紛失対応	○	○	—	—	iOS・Android デバイスの紛失対応をチャットサービスから利用者本人または管理者がデバイスを指定して実行できます。
2	スマホ紛失対応（管理者）	○	○	—	—	
3	PC 紛失対応	—	—	○	○	Windows・Mac デバイスの紛失対応をチャットサービスから利用者本人または管理者がデバイスを指定して実行できます。
4	PC 紛失対応（管理者）	—	—	○	○	
5	紛失 PC 復旧対応	—	—	○	—	リモートワイプを実行した（BitLocker によって起動不可）Windows デバイスに対して、復旧手順や復旧に必要なBitLocker回復キーを利用者本人または管理者が確認できます。
6	紛失 PC 復旧対応（管理者）	—	—	○	—	
7	パスワードオフ・再設定	○	○	—	—	iOS・Android デバイスのパスワードを忘れてしまった際に、ビジネスチャットからパスワードのオフ（iOS）、パスワードの再設定（Android）が可能です。
8	パスワードオフ・再設定（管理者）	○	○	—	—	

i … iOS/iPadOS A … Android W … Windows m … macOS

※ LanScope An の仕様に依存します。

LanScope An とは

PC・スマホ管理をクラウドで実現：充実の「IT資産管理機能」と「MDM機能」

IT Review 顧客評価No.1

圧倒的な「使いやすさ」

市場シェアNo.1 充実のWindows管理

操作ログ管理・ファイル配信実装

Apple・Google の認定プログラム対応

充実の「モバイル管理」



3. 導入事例・サポート体制

導入事例 No.1（従業員数 500名、チャットボット管理者 2名）

検討のきっかけ

情シスの問合せ対応はもちろんですが、総務、人事など様々な部門で社内の問い合わせが増加しており、対応に多くの工数がかかっていました。そこで、情シスをはじめとしたバックオフィス系の部門での社内問合せを効率化するためにチャットボットの導入を検討しました。

体験版利用から運用まで



最初にチャットボットに任せる回答範囲についてゴールを設定することが重要です。すべての業務に適用させようとする、導入までに必要な準備が増え、また実際の運用開始後のメンテナンス工数が増えて、管理者様の負担が増えてしまいます。まずは無理のない範囲を決めてから、データを整備し、導入前の検証を通じて回答内容の整備を行うことが重要です。また導入後には対応履歴などから回答内容を修正し、新たなFAQを追加していくことも成功の秘訣です。

導入事例 No.2（従業員数 150名、チャットボット管理者 1名）

検討のきっかけ

社内の問い合わせ対応の効率化はもちろんですが、問合せを受ける側として本来の業務に集中できない、問合せる側としてはすぐに回答がもらえないというストレスを感じており、この点を解消するためにチャットボットを導入検討しました。

体験版利用から運用まで



👉 Syncpit ではプリセットの FAQ を用意していますが、すでに過去の問い合わせ履歴を蓄積している場合、CSV ファイルで一括インポートすることで、FAQ データの整備を完了できます。お客様の中には、プリセット FAQ + 独自の FAQ でデータを整備しているケースもあります。

充実なサポート体制で初期設定・運用をご支援します！

『初期設定ガイド』の内容を設定するだけでボット稼働開始！
不明点・運用のご相談はサポートセンターが支援します！



初期設定ガイドの通り、設定を進めるだけで Bot が動き出します！

ヘルプデスクサービス

弊社サポートセンターはメールだけでなく、**お電話**で製品の不明点や利用方法、運用についてご質問・ご相談いただけます。導入後も安心してご利用いただけます。また**無料体験版の利用中も**サポートセンターをご利用いただけます。
※利用料金以外の費用は発生しません。





60日間無料体験版 受付中

初期設定は最短30分で完了、60日間しっかり試験運用が可能

無料体験版は全ての機能を利用いただけます (50ユーザーまで)

使い方や運用のご支援を製品専任スタッフがいたします。また無料体験版のデータを製品版へ移行も可能です。

>> お申し込みは[こちら](#)！



<https://www.syncpit.com>